



豆田ゆう子
の
12月議会報告

～生活って政治！！ Let's 市民力～

12月議会は、11月28日から12月11日まで14日間開催されました。補正予算を含む16議案を審査。まちづくり基本構想は、全員参加の特別委員会で審査され、委員会では、可否同数により委員長判断で可決されたが、本会議では、特別委員会委員長を含む3名が反対にまわり否決されました。



ふくおか
市民政治・ネットワーク

◇子ども自身が、相談できるところがあるって知っていますか？

福津市では・・☆福津市家庭児童相談室☆
0940-43-8218 平日 9時～17時
(市役所が開いているときに限る)

一般質問より

子どもたちが未来に希望を持ち健やかに育つために、大人の関わりは欠かせません。たくさんの大人が子どもにかけ言葉で、子どもの心は育ちます。そして、子ども達が話すことで未来が見えてきます。子どもたちの声を受け止める大人が必要です。

現在の大人は忙しく、子どもの話をじっくり聴ける状況ではありません。

子どもが困った時・悩んだ時に、子ども自身が相談できる場所が必要です。

福津市では、家庭児童相談室の電話番号を学年の初めにプリントにして配るだけです。年間の相談件数は1～2件です。(答弁より)

豆田の
提案

- 子ども達への積極的な周知の工夫
- 相談体制の充実

全国では・☆チャイルドラインもしもしキモ千☆

チャイルドラインのおやくそく

- 1、ひみつはまもるよ
- 2、名まえは言わなくていいよ
- 3、どんなことでもいっしょに考えるよ
- 4、話すのがいやになったら、でんわを切っていいよ

でんわで話したいときは

092-734-1600 第1・3水曜日の16:00～23:00
第2・4・5水曜日の18:00～23:00

0120-99-7777 月曜～日曜の16:00～21:00

メールでお話ししたいとき

mosi2kimochi@beach.ocn.jp

(返事は^{まいしゅう}毎週水曜日18:00～23:00の間にきます)



議員最後の質問を終わって

社会で子どもを育てる時代になったと思っています。

私事で申し訳ありませんが、わが子ども、いろいろな人の関わりの中で育てていただきました。思春期に、親以外の大人が周りにいてくれました。親に言えない事を聴いてくれ、親が言えない事を代弁してくれていたんだと思います。親以外に関わってくれる人がいる事は幸せな事だったと実感しています。彼らの周りにいてくれた大人に感謝しています。

福津市では、コミュニティスクールの取り組みで、中学校の「トークフォークダンス」があり、親以外の大人と出会い・話す機会が設定されています。参加された方もあるかと思いますが、中学生と地域の大人がフォークダンスのように輪になって話します。そして、学校の外で会っても話をできる関係が出来上がりつつあります。

また、困り感を持った子どもや高齢者など、誰もが行ける居場所づくりを進めている大人もいます。

子ども達が大人たちの温かいまなざしを感じるまちであってほしいと思って8年間活動してきました。今後は、一市民として、子ども達へ温かいまなざしを投げかけられる大人でいたいと思っています。

8年間ありがとうございました。



議案より

福津市まちづくり基本構想に賛成

ネットの考え方→

①平成28年7月3日のキックオフフォーラムから始まったこの基本構想は、郷づくりとの意見交換会や町内の分野別ワーキング会議、市民・職員アンケート、市民参加のふくつ未来会議をへて、審議会へ諮問されている。

審議会では、パブリックコメント(市民意見公募)中に、基本構想について語り合う会を開催するなど、今までにない策定過程を踏んでいる。この事は、ふくおか市民政治ネットワークが今まで提案してきた、市民への説明責任を果たしている。また、市民の声が反映されている。

②基本方針の初めに、「子どもの権利を守り」と謳いこまれ、子ども自身の育つ力を育む子育て支援が盛りこまれたことは、大変重要な事であり評価できる。

ネット賛成→委員会では賛成多数につき可決
(賛成9(委員長を含む):反対8)
本会議では賛成少数につき否決
(賛成5:反対11)